

20 篠建第 423 号  
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

篠栗町長  
三 浦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

貴職におかれましては、日頃から道路行政に対するご理解と、ご尽力を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

標記について、平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のあつ  
た意見・提案について別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県篠栗町

(要望事項)

1. 筑豊横断道路(一般国道201号バイパス)の建設促進

国道201号は、福岡県を東西に横断し、福岡都市圏と筑豊地方及び周防灘臨海工業地帯を結ぶ唯一の動脈であり、将来は東九州自動車道に連結され、北部九州全体の経済の発展の一翼を担う重要な幹線道路です。ついては北部九州地区の産業、経済の発展と沿線住民の生活向上のため、筑豊横断道路(一般国道201号バイパス)の早期完成を要望いたします。

2. 八木山バイパスの無料化

本町は九州の中核都市福岡市から東方12kmに位置し、緑溢れる豊かな自然環境に包まれ、日本三大新四国霊場の一つとして全国に知られる篠栗四国霊場や雄大で美しい自然景観を誇る山々や鳴瀬ダムなど、多様な観光資源を有しており多くの行楽客で賑わっています。このような中、休日や行楽シーズンには、国道201号沿線の城戸地区において慢性的な渋滞に悩まされ沿線住民は憂慮しています。つきましては、国道201号の渋滞緩和の一施策として八木山バイパスの無料化の早期実現を要望するものです。

3. 国道沿線の除草作業について(提案)

近年、町内の道路全般にわたり環境衛生や視距の確保の観点から道路除草に関わる苦情が相当数上がってきております。苦情発生からその処理までにかかなりの期間を要し苦慮しているところです。町では昨年度からその作業を、高齢者の雇用機会の確保を図るため、町内のシルバー人材センターに委託し迅速な対応とそれに要す費用を削減できたと考えています。現在、国道の路肩や法面、歩道部の植栽など年1ないし2回の除草作業を行っていたところ。このようなことから、国道の除草作業などについてもこのような地域と連携したシステムづくりができないかご検討いただけたらと提案するものです。

②－1地域の現状と抱える課題

福岡県篠栗町

○現状

1. 町内には国道1路線、県道5路線、八木山バイパスがあり、一部の区間で渋滞の緩和や歩道設置などの改良が求められている。
2. 町内の幹線道路をみると、東西方向は国道201号や県道福岡篠栗線がありますが、南北方向は幹線道路が不十分で市街地内の道路体系の構築が求められている。
3. 都市計画道路は、3路線11.25kmの都市計画決定を行っていますが、決定路線が少ないことに加え、国道201号線(整備済)を除いて整備が遅れている。
4. 町道は幅員6m以下の道路が多く、改良率や歩道設置率が非常に低い。

○課題

財政状況の厳しいなか、近年の道路事業は、道路管理上必要な町道の舗装補修や地域より要望される側溝整備、交通安全施設などの新設、維持補修、局所的な道路改良や交差点改良などを行っているのが現状で、身近な最低限の基盤整備にとどまっています。しかも地域よりかなりの要望がなされており、整備が追いついていない状況であり、用地費や道路工事に相当の建設費用を要する市街地の都市計画道路などの幹線道路を整備する財源を確保することが困難な状況であり、その整備が遅れている状況である。

②ー2地域の目指すべき将来像

福岡県篠栗町

1. 幹線道路の整備

現状の都市計画道路に加え、市街地の南部に東西幹線道路を、また市街地を一体化する南北幹線道路の配置を検討する。さらに幹線道路の整備と併せて補助幹線道路の配置について検討しその整備について検討する。

2. 生活道路の整備

計画中の主要な町道の改良を進めていく。また、幅員6m以上の道路が不足する区域を中心に水路の暗渠化や建て替え時のセットバックなどのより道路改良を推進する。

3. 快適な歩行者空間の形成

学校や住宅地の周辺などにおける交通量の多い道路を中心に、歩道の設置を進めます。また、誰もが安全に通行できるよう、危険箇所の解消やバリアフリー化を推進する。JR駅周辺や二級河川多々良川を軸とする市街地の歩行者ネットワークとともに、篠栗四国霊場を結ぶ遍路道や遊歩道などを一体化し町全体において総合的なレクリエーションネットワークを形成する。

4. JR篠栗駅の改善

JR篠栗駅の便利で安全、快適な利用を目指し、JR九州などの関係機関との協議を行い、篠栗駅橋上化の早期実現に努めます。